

所属・資格 総合文化研究室・教授

申請者氏名 石川 晃司

研究課題		①吉本隆明の思想研究 ②東南アジアにおける国家整備の研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	①数年来の吉本隆明研究を今年度も継続する。本年度は、これまでに発表した論文を整序し、さらに不足部分を加筆のうえ、一書に纏め、公刊する予定である。そのための作業を最優先させたい。 ②また、これも数年来手がけている東南アジア（とくにカンボジア）の政治研究も継続したい。吉本は歴史の段階として「アジア的段階」や「アフリカの段階」に着目し、それらの現在の意味についても旺盛な関心を示したので、東南アジア研究を吉本研究に連結させる可能性も考えたい。
	研究の結果	① 一著に纏めて公刊するという目的を果たすことはできなかった。内容的に難しいところに差ししかかっており、実際に手掛けてみると思いのほか時間がかかっている。ただ、遅々としてはいるが、対象を追い詰めているという実感はある。論文を1編、発表した。 ② カンボジア研究については、これまでの纏めも兼ねた論文を1編発表している。また、カンボジアの現地調査(2020.2.14～2.21)を行い、貴重な情報を集めることができた。
	研究の考察・反省	① 一著に纏めるという目標を、次年度は達成したい。 ② 継続して研究を続け、現地調査で得られた情報を纏め、発表する予定である。なお、これまで現地調査はシュムリアップ近辺でおこなったが、次年度はラオスなども研究対象に組み入れたいと考えている。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 「総体性」における心的領域—吉本隆明の所説をもとに」(単著) 日本大学文理学部人文科学研究所「研究紀要」第98号(2019)、2019年9月	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	「歴史と政治—ボル・ポト派(クメール・ルージュ)を中心に」(単著) 藁谷哲也編著『カンボジア研究—その自然・文化・社会・政治・経済』文真堂、2019年9月	